



これが今の彼女なのか：  
軍上層部のみ利用できる  
“高級娼婦”『セントルイス』  
がそこに居たー

一晚100万G

佐官クラスの貴方が  
果たして支払えるかしら？

今の俺の給与では：  
予算に手を出しても  
一晚で艦隊が傾いて  
しまひ…

“元”指揮官クン？

カレシ

んっ♡  
お前を取り戻す気があるか  
どうか賭けていたが：  
どうやら僕の勝ちだな  
めづっ♡

んっ♡  
100万Gなどなくても  
お前を選べば返してやったものを…  
馬鹿な奴だ

では約束通り、今夜こそ  
子宮を明け渡してもらおうぞ  
僕の子を産め。命令だ。  
可愛い売女

はいっ♡♡♡ 好き♡♡♡

孕ませてくださいっ♡♡♡

んはぁ…♡  
私を選ばなかった  
甲斐性なしなんか  
願い下げです…

このキーン本は好き♡♡

「ドア越しに視線を感じないかね？今夜は特別ゲストを呼んでおいた。わかるか？」  
「。。。あら？私を諦めた情けない元指揮官クンじゃない。」

「未練たらしい顔して。。。あんなのが好きだったなんて我ながらゾツとするわ」

「無能な男だが使い道はある。こうしてお前とのセックスを盛り上げるための

スパイスとして、だがな。儂なら今すぐ飛び込んでお前を奪う位の気概があるが・・・」

「彼にはそんな度胸なんてないわ。思う存分見せつけてやりましょう？」

「セックス本当の交尾ってこういうものよって、あの粗チンにトラウマ刻んでやるの♡♡♡」



「クククツ。お前は本当に怖い女だな、セントルイス」

「あら、心外ね。私はただ私を愛してくれる殿方に尽くしたいとは思いますが、私を手放すような愚かな男にいちいち心を砕く気はないだけですわ♥」  
「では儂もせいぜいお前を満たすよう気張るとするか」

「ああん♥すっごお…♥」

「なんだ。前戯の必要もないほど濡れておるではないか」

「だって…貴方のちんぽですもの♥泣いて赦しを乞いても絶対に止まらない  
勇壮なちんぽお♥私の奥の奥まで♥どうぞ征服なさって♥♥♥」



「あんっ♥ミルク出てきちゃった…♥」

「乳房を増量させるためのホルモン促進剤と倍化手術の副産物か」

「そうよ♥貴方好みの肢体に改修したせいよ♥ちゃんと責任取って  
くださいね…♥」

「そうだな。ふむ…今夜は確か…」

「はい…♥排卵日です♥貴方なら間違いなく仕留められます♥」

「当然だ。あそこの雑魚は仕損じてばかりだったそうだが儂は違う。心配するな」

「ツツツ♥♥♥嬉しいわ♥♥♥たくさん可愛がってくださいね…♥♥♥」



「はやくッ♥はやくちようだいッ♥貴方の極太エロちゃんぽおッ♥」  
「クククッ。仮にも元彼の目の前だぞ？何も思うことではないのか？」  
「ええっ♥全然ありませんわッ♥あんな愚図なんてもう無関係ですッ♥  
知らないッ♥どうでもいいッ♥」

「だからちようだいッ♥優秀な雄の遺伝子ッ♥貴方の子どもッ♥  
私に産ませてくださいいいいいッ♥♥♥」

「子ども共々儂が面倒みてやるが、妻とは離婚せんぞ。お前は…」

「わかっていますッ♥私は貴方の愛人ですからッ♥貴方だけの娼婦ですからッ♥  
それ以上何も望みませんからああ♥♥♥」









「ふう♥ふう♥素敵でしたわ♥」

「うむ…♥たまらんなあ♥やはりお前は最高の売女いとおんなだよ、セントルイス♥」

「うふふ…♥ありがとうございます♥いただきます子胤こだねは必ず身籠みごもります♥」

「ククツ…妊娠したらすぐに報せるよ？僕の愛人に不自由などさせぬからな」

「はい…♥愛しい御方♥真っ先にお伝えしますわ♥」

「うむ。さて、あそこの邪魔な木偶を片付けるとするか」

「あん♥あんなの空気と同じです♥それよりもっと愛してくださいさあい♥♥♥」

ドロオオカレ

(うううッ！セントルイスッ!!僕に力があれば君を救えたのに…!!  
すまない…!)



(うううッ♡♡♡情けなさで死にそうだ…)

彼女のあられもない姿や嬌声のせいでいつの間にか射精してしまった…  
最低だ…俺…)



@dais729sof2



@dais729sof2

















